

2013年(平成25年)7月18日(木曜日)

歴史感じ山道歩く

増毛山道の会らが体験トレッキング



一等水準点を前に説明を受ける参加者たち

【留萌】NPO法人増毛山道の会(伊達東会長)と留萌振興局は13日、2013年1回目の増毛山道体験トレッキングを開催し

た。新たに5㍉のミニコースを設け、一般参加者14人と総勢30人が山道を歩いた。新コースの設定は、より多くの人に山道を体験し

てもらおうのが狙い。増毛町の北海道遺産・歴史的建造物群をボランティアガイドと回る歴史散策をセットにして観光との連携も模索する。

増毛町別荘から途中までバスで登り、標高約600㍉地点から武好駅通跡を経て、山道復元中に確認された一等水準点8468(標高672㍉)までを往復する。暑寒別山系を一望でき、シラカバ並木、復元作業で最も手間取った2㍉を越すささやぶ地帯などがある。当日は、札幌や留萌、増毛から14人が集まり、昨年、16㍉のフルコース

を踏破した「山ガール」たちも再び参加した。

参加者たちは「坂も緩やかで、遊歩道のように歩きやすかった」「ささやぶの中にそそり立つ電柱や道端に転がる礫子(がし)に歴史を感じた」と感想を話していた。ミニコースは、年内は8月10日、9月28日の2回を予定している。